

第65回 日本伝統工芸展

平成30年 10月26日（金）→ 11月4日（日）

会期中無休 9時30分から18時 最終日は17時まで
（最終入場30分前まで）

主催 石川県教育委員会 日本放送協会金沢放送局 朝日新聞社 北國新聞社 公益社団法人日本工芸会
後援 富山県教育委員会 福井県教育委員会

11月1日は「いしかわ教育の日」、11月1日～7日は「いしかわ教育ウィーク」
「いしかわ文化推進期間」協賛事業

石川県立美術館

ISHIKAWA PREFECTURAL MUSEUM OF ART
金沢市出羽町2-1 電話 076-231-7580



文化財保護強調週間
Cultural Properties Protection Week



文化庁
平成30年度文化庁補助事業

日本工芸会総裁賞
前田宏智《四分一象嵌打出銀器》

第65回 日本伝統工芸展

平成30年 10月26日(金) — 11月4日(日) 会期中無休

開催にあたって

我が国には、世界に卓絶する工芸の伝統がある。伝統は、生きて流れているもので、永遠に変わらない本質を持ちながら、一瞬もとどまることのないのが本来の姿である。伝統工芸は、単に古いものを模倣し、従来の技法を墨守することではない。伝統こそ工芸の基礎となるもので、これをしっかりと把握し、父祖から受け継いだ優れた技術を一層錬磨するとともに、今日の生活に即した新しいものを築き上げることが、我々に課せられた責務であると信ずる。

昭和25年、文化財保護法が施行され、史上、若しくは芸術上特に価値の高い工芸技術を、国として保護育成することになった。私どもは、その趣旨にそって、昭和29年以来日本伝統工芸展を開催してきた。

このたび、平素の研究の成果をあつめ第65回展を開き、ひろく人々の御清鑑を仰ぎ、我が国工芸の健全な発展に寄与しようとするものである。



NHK会長賞
楠 光代《花織帯「クリスタル」》



朝日新聞社賞
金城一國斎《切金螺鈿箱「青麦」》



日本工芸会会長賞
森田由利子《線描幾何文花入》



高松宮記念賞
しんたにひとみ《乾漆螺鈿天牛箱》



東京都知事賞
渡辺晃男《黒柿蘇芳染嵌荘箱「西方の風」》



日本工芸会奨励賞
藤田美智子《木芯桐塑胡粉「雲錦」》

展示作品解説

日時	11時から	13時30分から
10.27	田島正仁(陶芸)	大角裕二(漆芸)
10.28	般若 保(金工)	
10.29	中田一於(陶芸)	山下郁子(染織)
10.30	細川 毅(木竹工)	村上浩堂(金工)
10.31	毎田健治(染織)	紺谷 力(人形)
11.1	中野孝一(漆芸)	川北浩彦(木竹工)
11.2	武腰 潤(陶芸)	二塚長生(染織)
11.3	川北良造(木竹工)	中川 衛(金工)
11.4	小森邦衛(漆芸)	山崎 剛 (金沢美術工芸大学学長)

主な出品作家(北陸関係)

【陶 芸】	吉田美統、中田一於、田島正仁
【染 織】	二塚長生、毎田健治、山下郁子
【漆 芸】	前 史雄、小森邦衛、中野孝一
【金 工】	魚住為楽、中川 衛、大澤光民
【木竹工】	般若 保
【人形】	紺谷 力

記念講演会「香川の漆芸」

10月28日(日) 13時30分から

講師 山下 義人 氏
(重要無形文化財「蒔繪」保持者)

会場 県立美術館ホール
参加無料、予約不要



テレビ放映 NHK総合(予定)

日曜美術館
生きて流れよ
～第65回日本伝統工芸展～

10月20日(土)
午前10:05～10:50(石川県地方向け)

観覧料 一般 700円(600円)
大学生 400円(300円)
高校生以下 無料()内は20名以上の団体料金



[自家用車]
北陸自動車道金沢西インター
または金沢森本ICより兼六園方面へ20～30分
[バス]
JR金沢駅東口(6番)から、兼六園シャトルで約15分
「県立美術館・成興閣」下車、徒歩約2分
[タクシー]
JR金沢駅から約15分

石川県立美術館
ISHIKAWA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

〒920-0963 金沢市出羽町 2-1
電話 076-231-7580